2024年度・第11回未来会議（全体会）議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
副会長兼書記・広報　伊藤　智子

日時：　2024年2月18（日）13：30～15：10

場所：　いきいきホール2階　大会議室

出席者（順不同、敬称略）：
須都　紘（会長）、黒部　實（副会長）、伊藤　智子（副会長・書記・広報）、
鎌田　卓（事務局長・会計）、黒田　勝行、中世古　昭一、渡辺　昇
山田　修、田口　信義、平尾　英城、中川　浩光、
欠席：　山田　勲、三室　哲哉、山地　祐輔、蔵田　かほり、
中尾節子（オブザーバー）

配布資料：
① 令和5年度第11回（2月）未来会議（全体会＆分科会）議題（案）
② 令和6年能登半島地震に伴う建物被害認定調査員の派遣／穴水町のあらまし／穴水全図
③ 鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）通信　第3号「みらい」
④ 鹿ノ台春まつり　出演・出店者リスト V9
⑤ 鹿ノ台春まつり　配置図
⑥ 鹿ノ台春まつり　会場搬入・設営・撤収　全体スケジュール
⑦ 「鹿ノ台春まつり」アンケート調査について
⑧ 「鹿ノ台春まつり」アンケートのお願い
⑨ アンケート（1月28日ウェルカムミーティングで転入者向けに実施）
⑩ 令和5年度下期　ウェルカムミーティング　アンケート結果
⑪ 【支え合い委員会の活動】v1
⑫ ご近所での支え合い推進！（鹿ノ台支え合い通信　第1号）
⑬ 令和6年度未来会議　全体会／分科会・幹事会　予定
⑭ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　乗車実績（人数）　R6.1月度
⑮ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 利用状況 分析【令和6年1月度】

会長挨拶

―1月28日、自治連合会の主催で鹿ノ台に新規転入された方々を対象にウェルカムミーティングが開催され、アンケートも実施した。転入者の声は、未来会議の転入促進の活動に参考になるので、後ほど紹介していただく。

―未来会議の高齢者分科会は昨年、自治連合会傘下の「支え合い委員会」に発展拡大した。この委員会の発足後8カ月ほどの活動について紹介いただく。

―未来会議メンバーの平尾さんが、生駒市から被災者支援のために能登半島に

派遣された。現地でのご経験が鹿ノ台の今後の参考になると考え、ご報告をお願いしている。

―メンバーの三室さんから、仕事の都合でお忙しくなるとのことで退会の申し出があった。⇒了解した。

―未来会議の運営に関して、ご批判が出ている。今後の運営にあたり、お願いがある。一つは、冷静に議論を進めていただきたいということで、もう1つは、出席者全員が公平に発言できるよう、おひとりの発言を1回3分程度に留めていただきたいということである。ご協力をお願いしたい。

能登半島地震被災者支援について

未来会議メンバーで生駒市職員の平尾さんが、能登半島地震被災地に1月25日から2月2日まで、建物被害認定調査員として生駒市から穴水町に派遣されたので、ご報告いただく。

―1月1日の地震では、穴水町は震度6強だった。建物被害認定調査員の資格を取得していたため、職員派遣された。

―義援金・見舞金の受け取りや保険金などの請求に必要な罹災証明を発行するためには、家屋被害の認定が必要となる。穴水町の職員は100名程度であり、人手が足りない。穴水町は、奈良県と静岡県と栃木県で支援することとなり、生駒市からも現地入りした。

―大雪の中、往きの移動に12時間かかった。現地では、通電していたが、断水していたため、簡易トイレで対応していた。到着後の3日間雪が降り、膝上まで雪がある場所があり、また、がれきやほこりがある状態だったため、調査できたのは1日に10～15件ほど、全日程で80件ほどであった。調査では、屋根瓦の崩落の程度、壁・基礎のヒビの程度などを調べた。

―新耐震基準適用後の建物の被害は少ないようであった。また、地盤に盛り土をされた場所は、瓦の崩落の程度が大きい傾向があった。

―ほこりで目が腫れて目薬が足りなくなるほどだった。震度3程度の余震が続く中での作業だったため、瓦の崩落などの可能性もある中ヘルメットを着用して実施した。

―2月2日に現地を発った時点でも断水が続いていた。鹿ノ台でも、防災訓練では、水が濁ったり断水した場合を想定した訓練をしたら良いのではないかと思った。

未来会議通信「みらい」第3号の発行

―未来会議の通信「みらい」第3号を作成した。印刷は1000部、うち400部ほど

を回覧・掲示していただくようお願いした。350部ほどを春まつりの会場でアンケートと一緒に配布する。

―裏面の活動報告には、それぞれの活動についてQRコードから新聞記事や連合ホームページにアクセスして詳細が参照できるようにした。「困り事サポート冊子」も QR コードから全文が読めるようにしていただいた。

意見：「みらい」第1号・第2号と同様、ABCハウジングセンターにも置かせて頂いたら良いのではないか。⇒承認

鹿ノ台春まつりについて

―前回からの変更点は以下の通り：

・子供向けイベントとして、「フォトブース」、「ストラックアウト」に加え、「お菓子のつかみ取り」を行うこととなった。

・桜美会による「お花見会」は、南北西の桜美会で実施する。東桜美会は他の行事と重なっているため個人参加となった。

・フリーマーケットに出店予定だった「あゆみとプティバ」は都合により出店を辞退された。

―春まつり（3月30日）の準備作業は前日10時から開始する。雨天による31日（日）への順延は当日7時30分に出演者・出店者に連絡する。

―次回以降も開催すべきかどうかの参考とするため、出演者・出店者と一般参加者に向けてアンケート調査を実施する。中央公園の東西南北の入り口で地安推のメンバーに協力していただき、全体で750部ほどを2回（午前・午後）に分けて配布していただく。そのうち350部は「みらい」と一緒に配布する。回収は、入り口4か所および本部席に回収箱を設置して行う。

令和5年下期ウェルカムミーティング　転入者アンケート結果について

―1月28日に実施した自治連合会の転入者向けウェルカムミーティング（R5年度下期）には、9世帯17名の参加があった。参加者を対象に行ったアンケートの結果概要は以下の通り：

・30代と40代で7割を占めており、約半数が子どもの入学・入園や子どもの成長・独立などのタイミングでの転入だった。

・鹿ノ台を選んだ理由は、閑静で緑が多いことと、生活・子育てのしやすさを挙げた方が多かった。

・鹿ノ台への満足度、自治会へのイメージ、ウェルカムミーティングの内容などへの回答も、「非常に良い」と「良い」が8割以上であった。

―ウェルカムミーティングに参加されたメンバーからの報告：

・近隣に実家があり、この辺りをよくご存じの方が多かった。

・別件だが、住民による写真投稿サイト「ここアレ」を見ると、「気になること」、「止めて欲しいこと」などの項目に、ポイ捨てやゴミが分別されないなどの投稿があり、住民のマナー向上の必要があると感じた。

・生駒市環境保全課は、市内1800か所のゴミ集積所のワースト1%に対して、分別に「自信あり」と「自信なし」の二つの看板にそれぞれゴミを出してもらう取り組みを行っている。この1%すなわち市内18か所に、鹿ノ台西2丁目、西3丁目、南2丁目のゴミ集積所が含まれている。不法投棄のゴミの回収を市に依頼した件数が多かったということだ。

・空き家が多く、庭が荒れている場所もあることも気になる。荒れた住宅の所有者や管理者が分からないため、手を打てないことも多い。

情報： 庭木が道路交通に障害になっていた事例では、警察にお願いし、警察から住民の方にお伝えいただいて解決できた。

支え合い委員会の活動

―R3年9月に未来会議において「高齢者に優しい支え合いのまちづくり」という分科会が発足した。その後 R4年4月、連合傘下の複数の組織と合同で、「支え合い準備委員会」がスタートした。

―R4年度には、住民の「困り事」全戸調査と分析を行った。チェック項目の多い170件（重点援護者）に絞り込み、そのうち130件にヒアリングを行った結果、活動の方向性が見えてきた。

―R5年度より「支え合い委員会」に移行し、世話人会（当初は毎月、途中から隔月）および世話人会のない月は役員会を行い、活動状況を調整している。具体的な活動は以下の通り：

・重点援護者に対して電話や訪問による見守り（年数回）を行い、カルテを作成している。

・「困り事サポート冊子」を作成し全戸配布した。市の福祉政策課を通じて、他自治体への紹介や内部研修会にも利用して頂いている。

・包括支援センターにも世話人会と役員会に参加して頂いており、共同で「鹿ノ台支え合い通信」を発行している。また、買い物が難しくなってきた認知症の方に対して、包括支援センター傘下の「認知症支え隊」でもある支え合い委員会のメンバーが、いそかわで買い物支援を行い、他の「支え合い委員会」メンバーが送迎を行っている。

・街づくり会、ICT 普及委員会、東西南北桜美会、かしのき会などとも連携・協力

をさらに進めていきたい。

・街づくり会では、大阪大学に協力して「社会的孤立早期検知と医療／地域連携」プロジェクトを進めている。住民説明会を3回行い78名が参加し、MMSE（ミニメンタルステート検査）という認知症検査を受けていただいた。12名が要注意者とされ、大阪大学で精密検査を受けた。それ以外の方にはカルテを作成し、見守りを行っている。現在11名に宅内センサーを設置し、行動情報を阪大が把握している。「支え合い委員会」では、この「要注意者」と困り事調査における「重点援護者」の双方に対して、東西南北に分けて数名で分担し、見守り活動を続けていく。

情報： 最近の実例として、大腿骨骨折でしばらくゴミ出しができない方から相談を受けたケアマネージャーさんから相談があった。当該地区の自治会長さんと桜美会会長さんにメールをして対応していただいたところ、近隣の方から申し出があり、ゴミを出してくださることになった。

意見： 評議員に困っている方がいないか聞き取り調査を行い情報を集め、「支え合い委員会」が調査するということをしたらどうか。

意見： 自分のブロックについて把握しておられない人が多いと思う。それを調べてもらうのは負担感が強いだろう。また、情報を提供してもらうだけなら良いが、助け合い・支え合いの活動までお願いするのは難しいだろう。

意見： 「いきいき街づくり会」は、高齢者サロンで顔見知りになり支え合える関係をつくることや、外出を促すことで社会的孤立を生まないようにすることを主眼に活動してきた。自治会に協力を求めてきたが合意は得られていない。

意見： 個別の事態への対応であれば動いてくれるだろう。しかし仕組みとして決めていくのは難しい。

意見： 私はサポーターとして毎週、石油ストーブの灯油を入れに行っている。水道屋さんのような仕事も依頼された。「困り事サポート冊子」には掲載されていない内容だが、少しずつノウハウを積み上げて、より幅広く対応できるようにしていきたいと思っている。

令和6年度未来会議　全体会／分科会・幹事会　予定

―全体会：毎月第3日曜日　　13：30～15：30（4月度は第4日曜に変更）

分科会：同　　15：35～16：30（4月度は第4日曜に変更）

場所： いきいきホール大会議室（10月度は西集会所）

―幹事会：毎月第2土曜日　　9：30～11：30（4月度は第3土曜、

8月は第2月曜、10月は第1土曜に変更）

場所： いきいきホール大会議室（10月度は西集会所）

鹿ノ台コミバス月度乗車実績について（報告）

1月度の乗車実績：

―1月の運行日数は11日、乗車人数は月間で479名、1日あたり43．5名だった。非常に寒い日が多かったことが影響しているだろう。あるいは、年末に通院や買い物を済ませていた方が多かったかもしれない。しかし、前年同月比では7パーセント増加している。

―収入比率は28．90％で生駒市の基準を下回っているが、昨年8月からの半年間の収入比率は32．84％であり、生駒市の基準を上回っている。

運賃の改定について：

―2月より奈良交通の路線バスの運賃が改定となり、鹿ノ台北二丁目⇔学研奈良登美ヶ丘の運賃が220円になったため、登美ヶ丘で路線バスに乗らず、コミバスに乗る方も見受ける。コミバスも4月以降は200円になるが、20円の差額が残るので、この傾向は続くかもしれない。

次回

日時：　2024年3月17日（日）13：30～16：30
第I部　全体会　13：30～15：10
第II部　分科会　15：15～16：30

幹事は13：15集合

場所：　**西集会所（いきいきホールではないのでご注意ください！）**

以上